

(単元) たんぱく質の働きと食品

(本時のねらい)

栄養素の一つである「たんぱく質」の特徴や働き、及びアミノ酸の特性、アミノ酸価の計算について学ぶ。また、たんぱく質含有食品の調理性について知ることで、たんぱく質の理解を深めることをねらいとする。

(ICT活用方法)

- ・たんぱく質におけるアミノ酸の説明を行う際、電子黒板を用いて視覚的に理解できるような工夫を試みる。
- ・従来アミノ酸価の計算時には、教科書と板書した黒板の双方を見比べながら説明をしていたが、電子黒板を用いてアミノ酸評点パターンと計算方法を同時に映し出し、生徒の理解を促す。

(本時の展開)

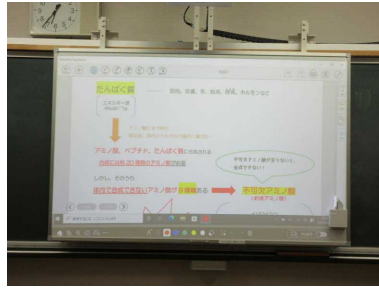
時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・本時の授業の内容と目標を知る。	・本時の授業の内容と目標を示す。	
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの問題を解き、たんぱく質の特性と働きについて理解する。 ・電子黒板に示されたアミノ酸の説明を聞き、アミノ酸価を計算する。 ・ワークシートの問題を解き、たんぱく質の調理性について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たんぱく質の特性と働きについて説明し、ワークシートの問題を解かせる。 ・電子黒板にアミノ酸の資料を示して説明し、計算方法を教える。 ・たんぱく質の調理性について説明し、ワークシートの問題を解かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を使用し、詳細説明を行いながら、授業支援クラウドアプリを用いてワークシートの問題を解き、理解を促す。 ・電子黒板に資料を示しながら説明を行い、計算方法を示す。
まとめ 5分	・次回の授業の内容を知る。	・次回の授業の告知をする。	

(授業の様子)

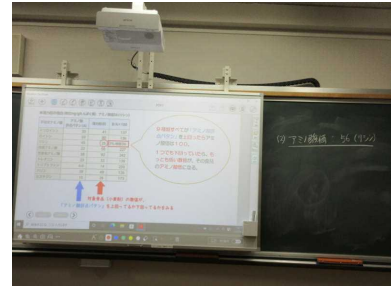
授業風景



ICT を用いた説明 (1)



ICT を用いた説明 (2)



(生徒の反応と課題，改善を要する点)

- ・アミノ酸の説明時に電子黒板を用いたことにより、生徒から「わかりやすい」との声が有り、視覚的な効果を実感できた。
- ・電子黒板を用いてアミノ酸評点パターンと計算方法を同時に映し出したことにより、教科書と黒板の双方を見比べる必要がなくなり、説明を聞きながら把握することができた。